

日本地熱学会 IGA 専門部会

平成 21 年度総会資料

2009 年 11 月 30 日  
日本地熱学会平成 21 年学術講演会会場  
京都大学桂キャンパス

構成：

- (1) 報告
  - A. 平成 20 年度事業報告\*
  - B. 平成 21 年度事業計画\*
  - AA. 平成 21 年度事業報告
  - BB. 平成 22 年度事業計画案
- (2) 別紙 1：平成 20 年度決算案、21 年度予算案
- (3) 別紙 2：平成 21 年度決算案、22 年度予算案

\*) 平成 20 年度終了時点で未報告なので、本総会資料に含めた。

## A. 平成 20 年度事業報告

### 1. 運営体制（平成 20 年度）

部会長	内田利弘	（産総研）
副部会長	新妻弘明	（東北大学）
総務担当幹事	安川香澄	（産総研）
広報担当幹事	浅沼 宏	（東北大学）
渉外担当幹事	山田茂登	（富士電機システムズ）
会計担当幹事	江原幸雄	（九州大学）

### 2. 主な事業概要

#### (1) IGA News の配信（4 回：No. 70 -73）

- ・日本関連の記事数  
No. 70（0 件）、No. 71（0 件）、No. 72（0 件）、No. 73（0 件）

#### (2) 地熱エネルギー入門（第 2 版）の出版

2006 年 11 月出版の地熱エネルギー入門（翻訳版）について訳文の見直し、一部の用語の変更・統一を行い、また、巻末に地熱利用の統計と地熱用語集を添え、2008 年 8 月に、第 2 版として出版した。地熱用語集は広報委員会作成による。印刷部数は 500 部、経費 16 万円（税抜き）であった。出版時に開催中の再生可能エネルギー展示会や 2008 年学術講演会等で配布した。

#### (3) IGA 理事会参加

- 1) 第 45 回（4 月 30 日、インドネシア・バリ）：山田、内田出席
- 2) 第 46 回（11 月 22～23 日、ウガンダ・エンテベ）：安川、内田出席

#### 3) 主な議事

- ・ IGA ニュースは 2008 年 9 月号（第 73 号）から電子版のみとする。図はカラーとし、ページ数の制約を弱くする。印刷版が必要な場合は、各国で対応する。
- ・ 世銀 Geofund プログラムの進捗状況報告。GeoFund は、東欧・旧ロシア諸国の地熱開発、技術者教育等をサポートするプログラムで、2007 年から開始。
- ・ IGA 加盟費の検討  
現在、IGA 加盟費は国の地熱開発の状況、GDP、会員数などを考慮して個別に交渉されている。不公平を避けるため、ガイドラインとして、1 名あたり、世銀定義の、高収入国 10 ドル、カテゴリー A 国 5 ドル、カテゴリー B 国 3 ドルを設定する。ただし、国による個別事情（会員全員が自動的に加盟している学会と、会員のうち有志が加盟している学会があるなど）を考慮した交渉は行える。
- ・ WGC2010 の準備状況報告  
セカンドサーキュラーの配信（2008 年 8 月）。International Honorary Committee への参加を世界の主要機関へ要請する。日本にも推薦依頼がある。  
論文投稿のスケジュールは以下の通り。
  - ・ アブストラクト締切 2009 年 1 月 31 日
  - ・ ドラフト論文締切 2009 年 5 月 31 日
  - ・ 最終論文締切 2009 年 10 月 30 日
- ・ WGC2015 ホスト国の募集開始

#### (4) 西太平洋地域支部（Western Pacific Regional Branch, WPRB）の活動参加

- ・ 2008 年 4 月 26-28 日、バリ島でセミナー、講演会を開催。セミナーのテーマは「Cost reduction through improved geothermal well targeting」、講師は、Lawless 氏（ニュージーランド）、鴫

田氏（西日本技術開発）ほか。

- ・2008年8月、オーストラリア・メルボルンでワンデーセミナーを開催。セミナーのテーマは、「Seminar on Geothermal Reservoir Management」、講師は Malate 氏（フィリピン）。
- ・講義用資料を収めた CD が販売中。

### 3. 会計報告 (別紙 1 参照)

## B. 平成 21 年度事業計画

### 1. 運営体制（平成 21～22 年度）

部会長	内田利弘	(産総研)
副部会長	新妻弘明	(東北大学)
総務担当幹事	安川香澄	(産総研)
広報担当幹事	浅沼 宏	(東北大学)
渉外担当幹事	山田茂登	(富士電機システムズ)
会計担当幹事	藤光康宏	(九州大学)

### 2. 主な事業概要

- (1) IGA News のメール配信（4 回）
- (2) IGA、西太平洋地域支部の活動への協力
- (3) その他の海外学会との協力
- (4) 海外の地熱関連情報の配信、学会ホームページの更新
- (5) IGA News 原稿投稿の勧誘

### 3. 予算案 (別紙 1 参照)

## AA. 平成 21 年度事業報告

### 1. 運営体制（平成 21～22 年度）

部会長	内田利弘	（産総研）
副部会長	新妻弘明	（東北大学）
総務担当幹事	安川香澄	（産総研）
広報担当幹事	浅沼 宏	（東北大学）
渉外担当幹事	山田茂登	（富士電機システムズ）
会計担当幹事	藤光康宏	（九州大学）

### 2. 主な事業概要

#### (1) IGA News の電子配信（4 回：No. 74 - 77）

- ・日本関連の記事数  
No. 74（0 件）、No. 75（2 件）、No. 76（0 件）、No. 77（0 件）

#### (2) IGA 理事会参加

- 1) 第 47 回（5 月 7～8 日、マドリード）：山田出席
- 2) 第 48 回（10 月 28～29 日、エルサルバドル）：内田出席

#### 3) 主な議事

- ・第 8 期（2010-2013 年）の理事選挙の方針、スケジュールの策定。
  - 2009 年 12 月 18 日 会員団体からの候補者推薦締切
  - 2010 年 1 月中頃 Nominating 委員会からの推薦締切
  - 2010 年 3 月 12 日 30 名以上の会員の署名による個別の候補者推薦締切
  - 2010 年 4 月 候補者の決定
  - 2010 年 7 月中旬 投票締切

IGA 専門部会の会員数は現在 103 名であり、2 名の候補を出せる。ただし、継続理事候補がある場合は、それを含む。安川理事がそれに該当。
- ・世銀 GeoFund プログラムの終了報告。
- ・IGA 運営会社の設立。IGA 事務局業務が増加した際に、それを補助するために、ドイツに IGA 運営会社(IGA Service Company)が設立された。世銀プログラムへの対応などを想定している。
- ・WGC2010 の準備状況
  - 2009 年 10 月に最終（サード）サーキュラーが配布された。ウェブからダウンロードできる。ドラフト原稿の投稿数は 85 ヶ国から 1030 件を越えた。最終原稿の提出締切は 2009 年 10 月末、早期登録の締切は 2009 年 11 月末。
- ・WGC2015 ホスト国の選定
  - アイスランド、ドイツ、オーストラリア（+ニュージーランド）の 3 ヶ国が招致を行った。開催提案書の提出と招致プレゼンテーションの後、理事会で提案書類を評価し、投票により、最多得票のオーストラリア（+ニュージーランド）がホスト国として承認された。今後、IGA との MoU 締結を行って、正式の決定となる。
- ・IGA は、再生可能エネルギー国際協会連携体(IREA)のメンバーになっており、政府間組織 IRENA（International Renewable Energy Agency）との協力も検討し、気候変動枠組み協定（COP）の会議などで、再生可能エネルギー利用促進のアピールなどの活動を行っている。

#### (3) IGA 西太平洋地域支部（Western Pacific Regional Branch, WPRB）の活動

- ・2009 年 9 月に中国四川省成都で 3 日間のセミナーと支部講演会が開催された。セミナーのテーマは「Power generation from low temperature and non-conventional geothermal resource」で、オーストラリア、ニュージーランド、ドイツから 3 名の講師。受講者は

23名。

- ・過去3回のセミナー教材CDを販売中。IGA 専門部会員は各50米ドル、非会員は各60米ドル。
- ・地域支部の会費は、2007年に徴収されて以降、2008-2010年は徴収しないこととなった。CD販売収入による財政の安定、セミナー講師の無償協力、少額の会費送金の煩雑などが理由。専門部会では、2008年にWPRB会費4年分を一括で納入してもらう方針であったため、すでに納入を済ませた会員が多数である。納入された会費の有効利用、あるいは返納について、今後検討する必要がある。

(4) その他の海外地熱関連情報の配信

- ・専門部会のホームページを改訂した。IGA情報、WPRB情報、海外の地熱情報について、コンテンツを増やしていく方針。

3. 会計報告

(別紙2参照)

## BB. 平成22年度事業計画案

1. 運営体制（平成21～22年度）

平成21年度と同じ

2. 主な事業概要

- (1) IGA News のメール配信（4回）
- (2) IGA、西太平洋地域支部の活動への協力
- (3) その他の海外学会との協力
- (4) 海外の地熱関連情報の配信、学会ホームページの更新
- (5) IGA News 原稿投稿の勧誘

3. 会員数

IGA 専門部会の会員数は現在103名、うち、WPRB会員は67名。

4. 会費

(1) 専門部会費

- ・2000円/年

ただし、GRC会員（あるいはニュージーランド地熱学会会員）は1000円/年

(2) 西太平洋地域支部会費

- ・600円/年

・支部への会費は一人当たり5ドルであり、毎年全員分335ドルを一括で支払う方針であるが、既存会員については、2008-2010年は免除となった。

5. 予算案

(別紙2参照)

以上

## 1. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成20年度決算案

自 平成19年10月01日

至 平成20年09月30日

項目	予算	修正予算	決算	備考
収入				
専門部会活動費(地熱学会より)	168,382	100,000	107,241	
IGA個人会費前年度預り金戻し入れ			26,000	前年度預り金支出分の戻入れ
H20年度IGA個人会費	133,600	133,600	86,000	
〃 誤納入			14,000	
H19, H21-23年度西太平洋地域支部個人会費	63,360	63,360	79,600	
IGA個人会費預かり金(前納21-23年度分)	400,800	400,800	234,000	
地域支部個人会費預り金(前納21-23年度分)	95,040	95,040		
利息	0	0	242	
前年度繰越金	0	66,382	66,382	
合計	861,182	859,182	613,465	

項目	予算	修正予算	決算	備考
支出				
2008年IGA団体加盟費	172,000	170,000	140,660	
2008年西太平洋地域支部会費	39,600	39,600	0	
通信費	2,000	2,000	0	
印刷費	150,000	150,000	168,000	
IGA個人会費預かり金(前納21-23年度分)	400,800	400,800	234,000	引当金への振替支出
地域支部個人会費預かり金(前納21-23年度分)	95,040	95,040	79,600	引当金への振替支出
予備費	1,742	1,742	0	
雑費			5,865	
会費返還			14,000	
次年度繰越金	0	0	0	
小計	861,182	859,182	642,125	
剰余金/過不足	0	0	-28,660	次年度学会予算で補填
合計	861,182	859,182	613,465	

注) 上記収支決算報告について、2008年10月9日に監事を受ける予定。

## 2. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成21年度予算案

項目	予算	備考
収入		
専門部会活動費(地熱学会より)	128,660	
H21-23年度IGA個人会費	103,000	
H21-23年度西太平洋地域支部個人会費	38,400	
IGA個人会費預かり金戻入れ	234,000	引当金の戻入れ
地域支部個人会費預かり金戻入れ	79,600	引当金の戻入れ
利息	300	
前年度繰越金	-28,660	
合計	555,300	

項目	予算	備考
支出		
2009年IGA団体加盟費	150,000	
2009年西太平洋地域支部会費	39,600	
通信費	2,000	
西太平洋地域部会講習会	100,000	
IGA個人会費預かり金(前納22-23年度分)	200,000	引当金への振替支出
地域支部個人会費預かり金(前納22-23年度分)	60,000	引当金への振替支出
予備費	3,700	
次年度繰越金		
小計	555,300	
剰余金/過不足	0	
合計	555,300	

## 1. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成21年度決算案

自 平成20年10月01日  
至 平成21年09月30日

項目	予算	決算修正案	備考
収入			
専門部会活動費（地熱学会より）	128,660	28,660	
専門部会費	103,000	119,400	今期に振込まれた会費等
H20-21年度西太平洋地域支部個人会費	38,400		
IGA個人会費預かり金戻入れ	234,000	234,000	引当金の戻入れ
地域支部個人会費預かり金戻入れ	79,600	79,600	引当金の戻入れ
利息	300	249	
前年度繰越金	-28,660	-28,660	
合計	555,300	433,249	

項目	予算	決算修正案	備考
支出			
2009年IGA団体加盟費	150,000	123,201	
2009年西太平洋地域支部会費	39,600	0	
通信費	2,000	0	
西太平洋地域部会講習会	150,000	0	
IGA個人会費預かり金（前納22-23年度分）	156,000	194,000	前納分を引当金として支出計上
地域支部個人会費預かり金（前納22-23年度分）	52,800	51,600	前納分を引当金として支出計上
予備費	4,900	5,025	振込手数料, 残高証明書
次年度繰越金		59,423	
小計	555,300	433,249	
剰余金/過不足	0	0	
合計	555,300	433,249	

注) 上記収支決算報告について、2009年10月に監査を受ける予定。

## 2. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成22年度予算案

項目	予算	備考
収入		
専門部会活動費（地熱学会より）	100,000	
専門部会費	76,000	
IGA個人会費預かり金戻入れ	194,000	引当金の戻入れ
地域支部個人会費預かり金戻入れ	51,600	引当金の戻入れ
利息	300	
前年度繰越金	59,423	
合計	481,323	

項目	予算	備考
支出		
2009年IGA団体加盟費	130,000	
2009年西太平洋地域支部会費	39,600	
通信費	2,000	
西太平洋地域部会講習会	150,000	
IGA個人会費預かり金（前納23年度分）	120,000	前納分を引当金として支出計上
地域支部個人会費預かり金（前納23年度分）	30,000	前納分を引当金として支出計上
予備費	9,723	振込手数料等
次年度繰越金		
小計	481,323	
剰余金/過不足	0	
合計	481,323	